

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2025.3.22
第 1142 回放送分『子ども・小児関連』4 回目
ゲスト：太原鉄平ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、「子ども・小児の疾患」についてお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 太原鉄平（たはら てっぺい）ドクターです。
太原さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

太原鉄平Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

今日は何についてお話しいただけますか？

太原鉄平Dr.

今日は、新型コロナウイルス流行以降に相談が増えた、
起立性調節障害についてお伝ひいたします。

二見いすず

起立性調節障害ですね。あまり聞き慣れないのですが、
どのような病気なのでしょう。

太原鉄平Dr.

立ち上がるときに、めまいや立ちくらみがします。
特に寝た状態から立つとき、また長時間立っているときに症状が出やすいです。

二見いすず

「寝た状態から立つとき」ということは、朝がつらいのでしょうか？

太原鉄平Dr.

そうなんです。「朝起きられず学校に行けない」と悩んで、みなさん受診されます。
けして本人が怠けているわけではないのですが、
起きることができず学校に行けないので、結果不登校につながっています。
事実、不登校の3割は起立性調節障害なんです。

二見いすず

そうなんです。これは体の病気なので、
精神的なものとはあまり関係はないのでしょうか？

太原鉄平Dr.

それがまったく無関係ではありません。

起立性調節障害は心身症にカテゴリーされます。

身体疾患ではありますが、発症するにあたり、心の問題が関わっています。

二見いすず

そうなんですね。

太原鉄平Dr.

ちなみにお昼くらいからは元気になって、午後からなら学校に行ける状態です。

午後に活動的になるため、夜ふかしになり、

結果朝起きられないという負のスパイラルにつながっています。

二見いすず

治療としてはお薬を使うのでしょうか？

太原鉄平Dr.

お薬を使う前に、まずは疾病教育をします。

れっきとした病気であることを伝え、そして必ず治ることも本人にお伝えします。

そうすると安心して泣かれるお子さんもいらっしゃいます。

二見いすず

本人が怠けている、だらしがないからだ、と、誤解されがちですもんね。

太原鉄平Dr.

そうなんです。もしお子さんや身近な子どもが、朝起きられずに困っていたら、

もしかしたら起立性調節障害かもしれないと、

周りの大人が知っていることも大切です。

インターネットで起立性調節障害を調べると、

診断できるチェック項目が出てきます。

二見いすず

確かに、起立性調節障害という病気があると知っていることも大切ですね。

太原鉄平Dr.

はい。朝起きたらカーテンを開けて、朝日を浴びる。

学校に行けなくても布団から出て椅子に座る。こうしたことも大切になります。

気になっている方はまず受診されてください。

中等症以上だとお薬での治療もしますし、

心理士が介入してメンタルのサポートもしてくれます。

二見いすず

よく分かりました。

今月は、「子ども・小児の疾患」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 太原鉄平ドクターでした。

太原さん、ありがとうございました。

太原鉄平Dr.

ありがとうございました。